

第1回奥出雲町国営農地開発事業負担金に関する第三者委員会が開催されました

国営農地開発事業負担金の消滅時効成立の事案について、8月17日に、役場仁多庁舎において、第三者委員会が開催されました。はじめに糸原町長から7名の委員に委嘱書が交付され、続いて選出された委員長に本案の経過及び原因の調査並びに検証及び再発防止策について意見を求める諮問書が手交されました。事案の概要と経過について担当課から説明が行われた後、委員からいくつかの質問や意見がありました。今後、諮問の内容に基づいて、委員会が開催される予定です。



第1回奥出雲町第三セクター等経営検討委員会が開催されました

有限会社奥出雲椎茸の破産を踏まえ、8月17日に、第三セクター等経営検討委員会が松江市の市町村振興センターにおいて開催されました。はじめに糸原町長から弁護士、公認会計士等で構成される8名の委員に委嘱書が交付され、続いて選出された委員長に第三セクター等の今後のあり方について、専門の見地からの意見を求める諮問書が手交されました。その後早速、奥出雲椎茸の破産に至った経過などについて担当課からの説明を受け、委員から経営上の問題点等の見解が示されました。今後は、現存する第三セクター等の経営にかかる検討が進められる予定です。



独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業専門学校と奥出雲町 包括連携協定締結

奥出雲町と独立行政法人国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校との間で、デジタル田園都市構想の推進に関する包括連携協定を締結し、締結式が、7月26日に役場仁多庁舎で行われました。この協定は、包括的な連携のもと、それぞれが持つ人的・物的資源とデジタル技術の活用によって、地域の個性を活かしながら本町の社会課題の解決や魅力向上の取組を加速化・深化させていくことも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指すことを目的としています。今後は、デジタル技術を活用した地域課題解決・地域活性化、デジタル人材の育成や学生のまちづくり参画を通じた人材選流の促進について連携していきます。糸原町長は、「この協定により、松江工業高等専門学校による人的支援などを得ながら町の活性化が図られるとともに、松江工業高等専門学校の調査・研究が進展し、人材育成に役立つことを期待しています」と述べました。



糸原町長(左)と松江工業高等専門学校 和田清校長(右)

NTT西日本と奥出雲町 ICTを活用した地域活性化に関する協定締結

奥出雲町とNTT西日本との間で、ICTを活用した地域活性化に関する協定を締結し、調印式が8月31日に役場仁多庁舎で行われました。この協定は、人口減少と少子高齢化が進行し、地域全体をどのように維持していくかが大きな課題となっている本町が、ICTを活用し、他地域において、地域の課題解決を図ってきた実績のあるNTT西日本と連携し、本町の地域課題解決と持続的な発展に向けて取り組むことを目的としています。その第一弾として、三成公園ホッケー場にAIを用いて自動で試合や練習等の撮影・編集配信を行うAIカメラと迫力あるゴール裏映像を撮影する定点カメラを常設する予定です。糸原町長は、「この協定により、本町の目指す『地域社会がデジタルの活用で豊かになり、持続可能な笑顔あふれる町』の実現に近づけるものです」と述べました。 ※ICT情報通信技術



糸原町長(左)とNTT西日本島根支店 小田晃弘支店長(右)

島根県石油協同組合 雲南支部仁多分会・横田分会と奥出雲町 災害協定締結

災害時における石油類燃料の供給に関する調印式が、8月7日に役場仁多庁舎であり、奥出雲町と島根県石油協同組合雲南支部仁多分会、横田分会との間で協定を結びました。この協定により、応急対応に必要な石油類燃料を重要施設等に速やかに提供し、早期の災害対応や復旧を行うことが期待されます。



石油協同組合雲南支部仁多分会 鳥谷幹雄代表(左)、糸原町長(中央)、横田分会 細木 晃代表(右)

企業版ふるさと納税による寄附をいただきました!

株式会社エイエム建設コンサルタント様

株式会社エイエム建設コンサルタント様から町に対し、100万円の企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。

同社は、「島根の豊かで美しい自然と融合した、未来志向の公共インフラ創造企業」を合言葉に島根から全国への事業展開を進めておられ、測量・設計のICT化による生産性向上、最新3D設計など、技術力の向上と充実を力を入れておられます。この度いただきましたご寄附は、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」に活用させていただきます。

有限会社不二興産様

有限会社不二興産様から町に対し、企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。

同社は、不動産に関する様々な情報提供に取り組んでおられ、雲南地区での商業用土地及び店舗について多くの実績を有しておられます。この度いただきましたご寄附は、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」に活用させていただきます。

企業版ふるさと納税は、町外の企業様が寄附を通じて町が行う地方創生の取り組みを応援いただいた場合に、税制上の優遇が受けられる制度です。町はこの制度を活用して企業からの寄附を募り、「奥出雲町まち・ひと・しごと創生推進計画」に掲げる取り組みを推進していきます。



困ったら 一人で悩まず 行政相談 (行政相談週間及び行政相談委員のご案内)

行政相談では、国の役所等の仕事についての相談を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から必要なあせんを行い、その解決を促進するとともに、皆様の声を行政運営の改善に役立てています。総務省では、この行政相談について、皆様に広く知っていただくとともに、その利用を促進するため、毎年10月に「行政相談週間」を設けています。令和5年度の行政相談週間は、10月16日(月)から22日(日)までの一週間です。また、総務省では、民間有識者(ボランティア)である行政相談委員を委嘱しています。行政相談委員は、行政相談所を開設するなどして、住民の皆さんから国の行政などへの苦情や意見・要望を受け付け、その解決のための助言や関係機関に対する通知等を行っています。奥出雲町では、行政相談委員が、次のとおり行政相談所を開設します。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。



行政相談委員が10月に開設する行政相談所

日	時	場 所	行政相談委員
公民館開設日(*)	午前8時半～午後5時15分	三成中央公民館(三成445-3) TEL0854-54-1311	こうばら 喜美子 郷原喜美子
公民館開設日(*)	午前8時半～午後5時15分	横田公民館(横田1037) TEL0854-52-0949	あべ げんじ 安部茂寿

(*)行政相談委員が不在の場合などがありますので、行政相談所にお越しになられる方は、事前に公民館にお問い合わせください。

行政相談に関するお問い合わせは 総務省島根行政監視行政相談センター(きくみみ島根) 行政監視行政相談課 電話:0852-21-3630



【お問い合わせ】
総務課防災管理係
有線:31-52208
電話:54-2505

令和5年度「く」ミニミニ助成事業 自主防災組織育成事業の申請募集のお知らせ

宝くじミニミニ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のミニミニの健全な発展を図るためのもので、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

今回、「く」ミニミニ助成事業の中にある「自主防災組織育成事業」の募集を行います。本事業は、自主防災組織が行う地域の防災活動に直接必要となる設備(防災倉庫等)を整備する事業です。

申請を希望される自治会は10月12日(木)までに連絡をお願いします。